

「天の川のような」

まつえしりつこなんちゅうがっこう  
松江市立湖南中学校 三年

たかくさき はるか  
高草木 晴香

皆さんは、ホタルを見た事がありますか？私は、小学生の頃に島根県雲南市にある母の実家の前を流れている「山田川」の近くで見たことがあります。数匹飛んでおり、とても小さく幼いながらに見蕩れていたのを今でも覚えています。まだ母が小学生だった頃はもっと沢山いたそうです。

「お母ちゃんが小さい頃はもっと川が綺麗で、ドジョウやボッカやメダカとったり、六月頃になると、川の上をホタルが沢山飛んでいたよ。天の川みたいにずっと光の帯が続いていたんだよ。家の前までホタルが飛んできてね、それを妹と虫とりあみでつかまえてね、虫かごに入れて部屋を暗くして家の中で見てね、外に放していたんだよ。」

と懐かしそうに母は言っていました。

そこで私は首を傾げました。私が見た時は数えられる程度しかいなかったのに、何故今と昔でこんなにも違うのだろうか？不思議に思った私はホタルについて少し調べてみました。

調べてみて分かったのですが、どうやらホタルは街灯の届かない静かで綺麗な水辺を好むそうです。その他にも深すぎない川底、餌となるカワニナのいる穏やかな清流などにホタルの住める環境があります。開拓など環境の変化や、水質が悪くなったりして年々ホタルが生息できる環境が減少しており、それに伴いホタルも少なくなっているそうです。

ホタルの住める環境の中で最も重要なのが「綺麗な水」です。ほたるこいという歌にあるように水が苦いとダメ、甘いといい、水は私達人間の生活だけでなく自然の中でも重大な役割を担っています。

ですが、汚れている水を綺麗にするのは簡単ではありません。そこで私はホタルの住める環境づくりの中でも特に水について調べてみました。調べてみるとホタルが住める環境を個人で作ろうとしている人がいました。その人の言っている内容は、

「子供の頃からある田んぼと用水路が減反政策のあおりで廃止され、毎年いたホタルが少なくなった。子供の為にもこれからもホタルが見れるようにしたい。用水路を作って、ドジョウやカワニナが住む環境を作ってあげたい。」

というものでした。これを見て同じように思っている人がいたんだ、私も少しでもホタルが住めるように自分なりに簡単なことから行動を起こしたいと思いました。

水を綺麗にするのは難しく、時間がかかることは分かっていますが親と話し合いながら少しずつ少しずつ水を綺麗にしていき、そして人生の半分以上が幼虫期、羽化して成虫になっても十日前後で寿命を迎え、産卵した後は二、三日で生涯を終えるという小さく儂いそして幼かった私に「美しい」という感情を教えてくれたホタルへ恩返しをしようと決意しました。

私の今の夢は、大人になった時綺麗になった水と共に母の言うまるで天の川のような沢山の「蛍」を見ることです。